

ともに一通信

[理事長挨拶](#)
[行事予定](#)

[各事業所より](#)
[編集後記](#)


理事長挨拶

花の盛りも過ぎ、若葉が目眩しくうつる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

当法人も今年度第13期に入りました。これもひとえに利用者様、ご家族、支援者様のご支援とご協力の賜物です。

誠にありがとうございます。

コロナウイルス感染症も落ち着きを取り戻し、法人の事業も活発に動き始めております。

新たにハラスメント委員会が発足し、今年の初めに法人全体でハラスメント研修も行いました。今期の目標として研修委員会による、管理職、中堅職員、新人職員に対し継続した教育訓練を実施し、職員の質を高め、利用者様へのきめ細かなサポート、サービスを実施してまいります。今後ともよろしく願い申し上げます。

法人年間行事予定

今年度の法人全体の行事は予定しておりません。各事業所ごとの行事や地域イベントへの参加は再開しており、今後も地域社会情勢等を踏まえ、随時判断をしていきます。

特定非営利活動法人 東京自立支援センター
〒186-0003

東京都国立市富士見台4-11-7-101号

TEL 042-576-9088

FAX 042-576-9144

ホームページ

<http://www.tokyo-tomony.org>

Facebookページ QRコード

facebook





就労継続支援A型事業所 ともに一



令和5年3月より担当理事兼務の所長・高森千穂の後任として、ポートビズから異動してきました伊藤英治です。ともに一は利用者さん25名でスタートとします。就労場所は多岐にわたり、乾いたタオルを折っているFSXリネン工場・配送横乗り作業、ホテル等で使用したテーブルクロスを選別作業を行っているワールド横浜工場、オフィス清掃を行っている国立倉庫、布おしぼりを折っている立川作業所、自家製パンの製造販売を行っているパン工房、各個人宅での剪定・除草等の植木作業、福祉有償運送を今年度は行っていきます。

また、R5年4月より、ともに一の事務所がパン工房のある事業所に移転いたします。

新住所は、東京都国立市富士見台3-4-40イナル国立ビルとなります。

利用者さんは、これまでと同様に通所し、国立、谷保駅からの送迎バスを利用していただき、その後、それぞれの場所に分かれて作業していただきます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

所長 伊藤 英治

就労継続支援A型事業所 ステップアップともに一

利用者さん18名でのスタートとなりました。昨年度より新規受託作業の開拓を進め、今年度は受託している作業について、安定した作業提供ができるよう取り組んでいきます。

R5年4月より、ステップアップともに一の事務所が移転いたします。新住所は、東京都国立市泉4-17-4となります。

現在行っている作業場について変更はありませんので、利用者さんはこれまでと同じに通所し、作業に入って頂きます。(国立、谷保駅からの送迎バスもこれまで通りです。)

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

所長 前田 摩耶



共同生活援助事業所 ともに一ホーム

・ともに一ホーム（共同生活援助・サテライト型住居）

ホーム1に6名、ホーム2に4名、ホーム3に6名、サテライト型に1名、合計17名の男性が生活をされています。日中は、各々の勤務先や通所先に出勤され、夕方にホームに戻り、自室の掃除や洗濯をしたり、共用箇所の掃除や炊飯の当番を担当したりされた後、自分の時間をゆっくりと楽しんでいます。まだまだ状況を見ながらですが、家族懇親会としてバーベキューや少人数のグループ旅行など、余暇の楽しみも企画しています。必要に応じて、金銭管理のお手伝いや通院同行なども行い、日々の生活が穏やかで安定して送れるような支援を心がけています。

・とも一ルポ（空床利用型短期入所）

自立（自律）生活の体験やご家族のレスパイト（休息）としての役割もあります。日程によってはまだ予約の空きがございます。ご利用についてはお問い合わせください。

所長 渡邊 吉郎



放課後等デイサービス スマイルともに一・2

自然豊かな立地を利用した支援を提供しています。スマイルともは一は『地域で生きる基盤作り』を目標とし、活動しています。仲間との交流を通して、社会性を身につけ、個々の持つ力を伸ばし、笑顔の絶えない、明るく、楽しい活動場所になるよう意識しています。自分の好きなことを進めるための力が育まれるよう環境を整え、通いたくなる事業所を目指し続けます。スマイル職員一同



令和5年度からは、法人内の他事業所との連携したイベントや活動も計画していきたいと考えています。



編集後記

気が付けば桜も散り、新年度が始まりました。長く続いたコロナとの共存生活も、目前に控えた5類への移行でまた新たな局面を迎えようとしています。「変わること」への期待と不安は大きいですが、基本的な感染対策は怠らず、日々を丁寧に過ごしていければと思います。